

連載

宇宙を観じる生活を！ (16)

～黄華堂通信より～

黄華堂（代表：有本淳一、メルマガ編集長：鈴木裕司）

「子どもたちに本物の星空を！」をモットーに関西を中心に観望会などの活動をしているボランティアグループ、黄華堂が配信しているメルマガジン、『黄華堂通信』[1]。星空案内、天文に関する絵本の紹介から研究従事者による研究紹介、はたまたクイズや今年注目の天文現象と、いろいろな話題を提供しています。ここでは連載でメルマガの話題をごくごく一部ですが紹介しています。今回は『黄華堂宇宙検定』から、今見ごろを迎えている星についてのクイズをご紹介します。

1. 木星についてのクイズ

まずは、冬の明るい星たちの中で絶好の観望期を迎えている木星についての問題です。

(1) 木星は、月を除けば今、真夜中に見える星の中では一番明るい星です。その木星の近くには 1 等星のポルクスが見えています。ポルクスも十分明るい星なのですが、木星は飛びぬけて明るく見えます。では、木星はポルクスの何倍明るいのでしょうか？

- (あ) 10 倍
- (い) 30 倍
- (う) 90 倍

(2) 木星は太陽の周りを回る惑星の中では最大のものです。その大きさは地球の何倍でしょうか？

- (あ) 5 倍
- (い) 7 倍
- (う) 11 倍

(3) 木星を望遠鏡で見ると、周りに 4 つの衛星を見ることができます。これらは木星の衛星の中でも特に大きいものなのですが、地球の衛星である月よりも大きいものはいくつあるでしょうか？

- (あ) 1 個
- (い) 2 個
- (う) 3 個
- (え) 4 個

(鈴木裕司、黄華堂通信 2012 年 12 月号より)

2. カノープスについてのクイズ

続いては、こちらも今が一番の見ごろの星、一等星カノープスに関する問題です。

(1) りゅうこつ座のカノープスの和名（日本での呼び名）として正しいものを選んでください。（複数選択可）

- (あ) 南極老人星
- (い) 紀州のミカンボシ
- (う) ネノホシ

(2) ※※記述問題※※

カノープスが輝く「りゅうこつ座」は、もともとは別の大きな星座・アルゴ座の一部分でした。では、アルゴ座が輝いていた場所に現在ある星座を全て答えてください。

(3) アルゴ座は「アルゴ船」という船の星座です。ギリシャ神話では、ふたご座になっているカストルやポルクスなど、多くの英

雄がアルゴ船に乗って、ある宝物を求めて冒険をします。

この宝物も 88 星座と深い関わりがあるのですが、どの星座でしょうか？

（あ）ほうおう座

（い）かんむり座

（う）おひつじ座

（石井優子、黄華堂通信 2012 年 2 月号より）

3. 黄華堂検定の答え

3.1 木星についてのクイズの答え

（1）い

明るさを等級で表すと、ポルックスは 1.1 等、木星は -2.6 等です。1 等級明るくなると約 2.5 倍の明るさになるので、計算をしてみると木星はポルックスの約 30 倍明るいことになります。星座を作る星の中で一番明るいシリウスでさえ -1.5 等なので、木星は飛びぬけて明るく見えています。

（2）う

地球の赤道の半径は 6378km なのに対して、木星の赤道の半径は 71492km とおよそ 11 倍の大きさです。重さで比べてみると、木星は地球の約 318 倍もの重さがあります。

（3）う

木星の衛星のうち、エウロパは月の約 0.9 倍の大きさ。一番大きなガニメデは月の約 1.5 倍の大きさです。真ん中の木星が重たい分、衛星は速く周りを回っていて、一番内側のイオは 1.77 日で木星の周りを一周します。一番外側のカリストでも、地球と月の距離の 5 倍のところを 16.7 日で 1 周しています。詳しい値は理科年表などで調べてみてください。

3.2 カノープスについてのクイズの答え

（1）あ、い

カノープスは南の空地平線近くに輝き、日本や中国などの緯度では、なかなか見つけることができません。そのため、この星が見えたら長生きができる、という伝説がありました。この伝説と一緒に中国から伝わった名前が「南極老人星」です。

また、兵庫県の一部からはカノープスは「キシウノミカンボシ」・「アワジボシ」などと呼ばれることもあります。

「ネノホシ」というのは、北極星のことです。方角を十二支であらわすと北の方角は「子」となることから、「子（ネ）の方角に輝く星」ということかもしれません。

（2）とも座・りゅうこつ座・らしんばん座・ほ座

アルゴ座は大変大きな星座でした。そのため、4 つに分けられたと言われています。

（3）う

アルゴ座のギリシャ神話には、こと座の神話に出てくるオルフェウスや、ヘルクレス座のヘラクレスなど、多くの星座の英雄たちが登場します。その英雄たちは、黄金の羊の毛皮を求めて冒険をしています。詳しくは、アルゴ座のギリシャ神話を読んでみてください。

文 献

[1] メールマガジンの配信については、こちらから登録できます。

<http://www.mag2.com/m/0001114021.html>

鈴木 裕司